

救急病棟

部署の特徴

救急病棟は、主に救急外来を救急車もしくはウォークインで受診され、緊急入院が必要と判断された患者様が入院します。病床数は24床、看護師配置基準は4:1です。

経過観察を目的とした1泊入院の方から、疾病や外傷などによる重篤な急性機能不全などの集中治療と高度ケアが必要な患者様まで、院内で最も幅広い入院患者層を引き受けます。そのため、あらゆる診療科に精通した知識や技術が求められます。また、集中治療室と同等の医療機器への対応力も求められます。緊急入院から病棟転棟までスピード感を要し、数日で患者様の多くが入れ替わります。入室する患者様は「緊急」で入院された方々ですので、症状が不安定です。そのため、急な状態変化にも気づける、フィジカルアセスメント能力が必要不可欠です。また患者様やご家族は、予定外の事柄に対する心の準備がままならず入院します。そのため、入院後の不安は非常に大きく、精神的なケアが大切になります。昼夜問わず緊急入院がありますが多職種と連携し、日々患者様の早期回復のために努めています。

勉強しておくの良いこと

- ・病態生理・解剖生理など基本的な知識と、バイタルサイン・検査値などの正常・異常を区別できる様にしておきましょう。
- ・社会人としての心構え(身だしなみ、挨拶、言葉遣い)
- ・患者さんとの関わりや多職種連携において、コミュニケーション能力が大切となってきます！
- ・「救急」と聞くと不安なイメージがあると思いますが、焦らず一緒に勉強していきましょう(*^_^*)

よく使う参考書・教科書

- ・ICUディジーズ
 - ・ICU3年目ナースノート
 - ・病気が見えるシリーズ
- ☆病棟図書が充実しているので活用できます。

